日刊 明治四十一年三月廿五日 (木曜日) 第一百九號 (一)

京城新報

●新聞紙 第一種郵便物認可 ●毎日五枚半 ●毎月二回 ●毎月一日・十五日 ●毎月一日・十五日・廿五日 ●毎月一日・十五日・廿五日 ●毎月一日・十五日・廿

東京新報

韓内閣の更迭を望む

李完用内閣の朝野に信望なきは既に何人も知る所也、殊に伊藤統監の信任厚しと稱せらるゝ眞相宋秉畯氏の信望を缺げるは最も甚しとなす、總理李完用氏亦た之に次ぐの不信任を受く、現内閣の存在は憐れ纂徒蜂起の一原因ならむ、如何に内閣大臣に重きを置かんとするも斯る朝野に信望を失せる内閣を存置するの必要ありや、其存在が纂徒蜂起の一原因と認められるゝに於ては尚更に之が存置の無要なるにあらずや、統監府に於ても之等の事情は疾く認め居らるゝならむ、若し之を知りて尚其儘に放任すと云ふに至りては統監の責任何處にあるや、纂徒は云ふ如何に大臣を更迭しても同一也、現内閣以上のものは得られまじと、決して然らず、其權略恰倜卿等の點に於ては或は完用内閣の長所にして他の企て及ぶ可らざるものあらむ、然れども余輩の更迭を促す所のものは、朝野の信望を有するものを以て組織せん事也、事や甚だ明白也、民心初より離反せる現内閣を存置するは統治の責任ある統監の爲すべき事にあらず、纂徒の巨魁等決議して國賊現内閣を破壞せんと奮言するにあらずや、斯迄人民の怨憤する内閣を庇護して存續せば統監府亦民怨の的とならざる可らず、韓民の怨府となるも尚之を存續するの愚策ありや、

僅少の事にも韓國民の感情を害すと心配する伊藤統監施政の下に此事ある余輩は甚だ怪訝に堪へざる也、今にして悟るなくんば伊藤統監は韓國民怨望の中心となりむ、之れ余輩が現内閣の更迭を勸告する所以也、

紐育電報

▲陸奥丸の沈没

韓國前願問スチーブンス氏は昨日桑港に著し二十四日其旅館に於て馬車より降らんとする際突然非常の重傷を受けたり兇漢は當港在留中の韓國人にして其遭難の原因は同氏が新聞記者に對し日本の對韓政策を稱揚し日本は米國が比律賓に於けると同樣に尊ぶべき事業を韓國に於て起しつゝありといひしにあり（二十四日發）

東京電報

▲陸奥丸の沈没

郵船會社滿船陸奥丸函館沖にて沈没し乗客二百五十名中九名通り溺死せる模様也

▲昨年の收穫額

農商務省の調査によれば昨年の收穫額は米穀は二億四千六百九十三百六十石にして豆類四千六百九十三百六十石麦は七千四百六千百十九石にて合計三百四十五萬六千九百六十石なりと

▲拓殖會社案特別委員

衆議院に於ける東洋拓殖株式會社法案委員會は七名の特別調査委員を擧げて審理せしむる事となり野田卯太郎、加藤政之助、小川平吉、安達謙藏、吉植庄一郎、佐々木正藏、河俣德三郎の七氏指名され直ちに秘密會議を開けり（廿三日午後發）

雜報

●副統監兩宮參内　副統監は陸軍第十三師團長二十六日歸朝に付き國勢視察官を從へ昨日午前十一時三十分昌德宮へ參内し皇帝陛下へ謁見午後二時三十分德壽宮へ參内し太皇帝陛下へ謁見何れも御暇乞を言上し退出したり

●大臣會議　各大臣は昨日午後三時より統監官邸に於て大臣會議を開けり

●參與官會議會　昨日十一時より參與官會議の爲め各參與官參集せしも開會せず散會せり

●韓國に對する來年度豫算　韓國前帝國議會の協賛を經て確定したる我政府の韓國に對して支出すべき四十年度追加豫算及び四十一年度豫算歳出の細目は左の如くなりと

四十年度追加豫算韓國に對する歳出

七〇〇、〇〇〇	遞信	韓國鐵道建設及改良費（京義線）
二〇〇、〇〇〇	大藏	韓國派遣部隊費（憲兵）
一、七六九、五〇三	同	韓國政府立替金
二、六六九、五〇三	合計	

四十一年度韓國に對する歳出

七、五二二、五八〇	遞信	韓國鐵道建設及改良費
二二四、三八八	内閣	總係費
一三六、六九二	澤	京釜線
二六六、五〇七		京義線
二六四、九九三		平南線
六一〇、〇〇〇		車輛費
二〇〇、〇〇〇		改良費
四三三、九四七	同	韓國鐵道收益勘定欠損塡補
九九、四四〇	同	韓國遞信官署新營費
一〇、一五〇	同	同修繕費
一、二二五、四一一	大藏	統監府
三一、二〇〇	同	特殊金庫事務取扱費

京城、仁川、釜山、元山、城津、咸興、月額各三〇〇〇圓

仁川、元山、理事廳官舍二棟、監獄事務所官舍二棟　二支金庫增設見込月額各五〇〇圓　理事廳新營費

七、二〇〇	同	在韓國居留民教育補助
一四六、二五〇	同	朝鮮海水産組合補助
三〇、〇〇〇	同	統監官舍新營費
二〇〇、〇〇〇	同	統監府所屬廳舍其他新營費
一五〇、〇〇〇	同	同修繕費
八四、五〇〇	同	韓國政府立替金
一四、〇〇〇	同	同修繕費
五、二五九、五八〇	同	韓國森林資金繰入
三〇〇、〇〇〇	同	陸軍軍費
四、一一一、二〇〇	陸軍	憲兵費
八一九、八五八	同	歩兵隊定費
五〇、〇〇〇	同	鎮海防備隊
六三、三二二	海軍	水興防備隊
五〇、一九三	同	在韓國海軍用地經營費
三七、七八四	同	
三〇、四二一、六一八	合計	

●仁川の外國貿易額　仁川に於ける本月中旬の輸出入額は輸出七萬二千百六十三圓輸入二千九百八十九圓合計三十三萬四千三百五十七圓、輸入超過十九萬二千一圓にして輸出品中重なるものは米二萬九千

●水雷艇の入港　昨日午後四時守永海軍少佐の率ゆる第十水雷艇隊第三十九、第四十、第四十一、第四十二の四隻は仁川に入港したり其用向は詳かにされざるも警備上向上に關なり

暴徒の密偵を逮ふ（京城に於て）

●度支部の法令編纂　義に元財務顧問本部は韓國法規大全を編纂し一般の希望者へも販賣せしが同大全編纂後新法令の發布せられたるもの多きを以て度支部に於ては今回新たに法令の編纂をなす事となり編纂委員を撰任して目下調査中なるが此の法令集は義に編纂したるものとは少しく其の内容、体裁を異にする筈なりと云ふ即ち左の如し

一、名稱は「財務法規類纂」とす

二、法令は度支部所管事務に直接間接關係あるものゝみを集輯す

三、文章は韓文を以て日本假名を傍書す

四、類別は大要左の如く定む

第一類　公文式　官規　官制及分課
第二類　民刑
第三　會計　貨幣
第四　租税
第五　農商工
第六
第七
第八
第九

五、体裁は大き菊版、加除綴とし法規の改廢に伴ひ之を加除し得る樣一件毎に頁を別にす

六、集輯の法令は隆熙二年四月一日現行に依る

七、前項期日以後の制定改廢に係るものは各月一回刊行し之により加除するものとす

八、統監府關係法令にして度支部事務に關係あるものは附録として集輯添加する事尚此の類纂は財務官吏の使用に供する目的なるも一般希望者へも頒賣せらるべしと云ふ

●韓海漁業組合の計畫　韓海漁業組合員内田忠吉、小野乙輔、井内義彦の三氏は昨年十月北韓漁業視察のため釜山港を發し咸鏡南北道金岸三百餘海里の視察を完了し歸航の際視察船難破せし事は當時報導し置きたる所なるが今聞く所によれば同氏等は其の後事業計畫上の調査終了したるを以て愈々本年の漁期より元山、新浦、清津及び豆滿江の附近を根據地とし水産事業に著手すと云ふ因みに内田氏は内地に在る組合員と打合せのため廿四日發歸國せり

●清津税關支署の設置　度支部に於ては今回咸鏡北道富寧郡清津港に税關支署を設置することに決し四月一日より其事務を執る筈にて度支部令を以て發布せり之れと同時に從前の監視所は廢止となりたり

●一圓銀貨通用禁止　本邦一圓銀貨は本邦政府に於て既に通用を禁止し居る韓國政府に於ては其勅令を以て規定したる形体量目の同一なるものは通用せしめ居りしが近時銀相場の暴落に依り其價格の低下したる一圓銀貨を輸入し通用せしむる者少からざるを以て斯くて通貨の信用を害し延貨幣制度を紊亂するに至れば無智の人民等にして其形体の補助貨より大なるに惑亂して之を授受し不時の損失を招くなしとせざるを以て之れが通用を禁ずることを一般人民に周知せしむべしとの旨度支部より十三道に向け訓令したり

●駐韓兵の上陸　駐韓交替兵の來韓することは別項の如くなるが本日仁川に入港する御用船成興丸にて八百四十六名上陸する筈なりと聞く

●暴徒の密偵を逮ふ（京城に於て）　西大門外松井洞の前侍衛二大隊の兵丁尹壽(二十)は昨年七月同隊解隊後八月の驅逐に加はりたる迄は分明せしも爾來行衛不明にして暴徒に加入せしものならんとの嫌疑あり偵等の爲め客歳十一月上旬以來北部守備警區司令官の隷下に屬せしめたる韓國近衛歩兵は目下其必要なきを認め不日原隊（在京城）に復歸せしむ

●巡査隊の行動　目下全羅南道の暴徒討伐に從事せる第二巡査隊は三月十三日午後十一時咸平郡大狄面斗谷に於て賊魁金律の部下の都督將として五十名を引率し泉明淑を逮捕し火繩銃を押收す又同十四日には咸平郡獐本面登江に於て金律の部下に捕獲一負傷十一を下らず而して同地方の首魁は金泰元金律李進士等にして巡査隊は一方彼等の所在の搜索に努むるとともに一般に向ひ歸順の勸誘方教示しつゝありと云ふ

●鐵道賃金の回答　來る四月一日より賃金引上げ來るべき韓國鐵道賃金引上に對し京城日本人商業會議所に於ては義に役員會の決議により二月三日付を以て副統監及鐵道管理局長に宛て陳情書を提出したるが今回石川鐵道管理局長より秋吉會頭へ向け左の如く回答ありたり

來る四月一日より實施すべき當局諮旅客賃金に對し本月三日付陳情書を以て縷々御來意の趣了承致候右は當局に於ても至極御同感に有之京仁間往復割引券に對する通用期間は既に三日間を制定發表致候付御承知の事と存候而して京仁間割引區間に永登浦驛の追加及其他の近距離に於ける割引は改正賃金實施之節其成績如何に依り漸次之が實行を期す豫定に有之候間御承知相成度此の段御回答申上候也

●開港紀念と民會　陽港二十五年祭に就き本日午後より民團役所樓上に於て有志總會を開き發起人に於て起草せし方法を以つて專行すべきや否やを討議し異議なき時は直ちに會長以下の役員を選定する筈なりと云ふ

●會議所の豫算會議　京城日本人商業會議所にては四十一年度歳入出豫算議定の件に付昨日該樓上に於て總會を開けり

●驛長會議　四月一日より汽車時間改正及直通列車の開通等に關し太田南大門間及南大門仁川間の各驛長は昨日午後二時より南大門運輸課に於て協議會を開けり

●市價暴落と鑑定價格　御用船大禮丸は安東縣よりの軍需品百三十一個を仁川陸軍運輸部に陸揚し直に軍需品帆の筑後川丸は同部より群山守備隊行軍需品六個を載して相場は日を逐ふて下落し從つて仁川に於ける市價は近年稀有の暴落を來せり然るに此等輸出入品に對する稅關の鑑定價格は下落せしめ居らず一般の希望者へも販賣せしが同大全編纂後新法令の發布せられたるもの多きを以て度支部に於ては今回新たに法令の編纂をなす事となり編纂委員を撰任して目下調査中なるが此の法令集は義に編纂したるものとは少しく其の内容、体裁を異にする筈なりと云ふ即ち左の如し

一、名稱は「財務法規類纂」とす

二、法令は度支部所管事務に直接間接關係あるものゝみを集輯す

三、文章は韓文を以て日本假名を傍書す

四、類別は大要左の如く定む

第一類　公文式　官規　官制及分課
第二類　民刑
第三　會計　貨幣
第四　租税
第五　農商工
第六
第七
第八
第九

五、体裁は大き菊版、加除綴とし法規の改廢に伴ひ之を加除し得る樣一件毎に頁を別にす

六、集輯の法令は隆熙二年四月一日現行に依る

七、前項期日以後の制定改廢に係るものは各月一回刊行し之により加除するものとす

八、統監府關係法令にして度支部事務に關係あるものは附録として集輯添加する事尚此の類纂は財務官吏の使用に供する目的なるも一般希望者へも頒賣せらるべしと云ふ

●韓海漁業組合の計畫　韓海漁業組合員内田忠吉、小野乙輔、井内義彦の三氏は昨年十月北韓漁業視察のため釜山港を發し咸鏡南北道金岸三百餘海里の視察を完了し歸航の際視察船難破せし事は當時報導し置きたる所なるが今聞く所によれば同氏等は其の後事業計畫上の調査終了したるを以て愈々本年の漁期より元山、新浦、清津及び豆滿江の附近を根據地とし水産事業に著手すと云ふ因みに内田氏は内地に在る組合員と打合せのため廿四日發歸國せり

●清津税關支署の設置　度支部に於ては今回咸鏡北道富寧郡清津港に税關支署を設置することに決し四月一日より其事務を執る筈にて度支部令を以て發布せり之れと同時に從前の監視所は廢止となりたり

●一圓銀貨通用禁止　本邦一圓銀貨は本邦政府に於て既に通用を禁止し居る韓國政府に於ては其勅令を以て規定したる形体量目の同一なるものは通用せしめ居りしが近時銀相場の暴落に依り其價格の低下したる一圓銀貨を輸入し通用せしむる者少からざるを以て斯くて通貨の信用を害し延貨幣制度を紊亂するに至れば無智の人民等にして其形体の補助貨より大なるに惑亂して之を授受し不時の損失を招くなしとせざるを以て之れが通用を禁ずることを一般人民に周知せしむべしとの旨度支部より十三道に向け訓令したり

●駐韓兵の上陸　駐韓交替兵の來韓することは別項の如くなるが本日仁川に入港する御用船成興丸にて八百四十六名上陸する筈なりと聞く

●暴徒の密偵を逮ふ（京城に於て）　西大門外松井洞の前侍衛二大隊の兵丁尹壽(二十)は昨年七月同隊解隊後八月の驅逐に加はりたる迄は分明せしも爾來行衛不明にして暴徒に加入せしものならんとの嫌疑あり偵等の爲め客歳十一月上旬以來北部守備警區司令官の隷下に屬せしめたる韓國近衛歩兵は目下其必要なきを認め不日原隊（在京城）に復歸せしむ

●巡査隊の行動　目下全羅南道の暴徒討伐に從事せる第二巡査隊は三月十三日午後十一時咸平郡大狄面斗谷に於て賊魁金律の部下の都督將として五十名を引率し泉明淑を逮捕し火繩銃を押收す又同十四日には咸平郡獐本面登江に於て金律の部下に捕獲一負傷十一を下らず而して同地方の首魁は金泰元金律李進士等にして巡査隊は一方彼等の所在の搜索に努むるとともに一般に向ひ歸順の勸誘方教示しつゝありと云ふ

●鐵道賃金の回答　來る四月一日より賃金引上げ來るべき韓國鐵道賃金引上に對し京城日本人商業會議所に於ては義に役員會の決議により二月三日付を以て副統監及鐵道管理局長に宛て陳情書を提出したるが今回石川鐵道管理局長より秋吉會頭へ向け左の如く回答ありたり

來る四月一日より實施すべき當局諮旅客賃金に對し本月三日付陳情書を以て縷々御來意の趣了承致候右は當局に於ても至極御同感に有之京仁間往復割引券に對する通用期間は既に三日間を制定發表致候付御承知の事と存候而して京仁間割引區間に永登浦驛の追加及其他の近距離に於ける割引は改正賃金實施之節其成績如何に依り漸次之が實行を期す豫定に有之候間御承知相成度此の段御回答申上候也

●開港紀念と民會　陽港二十五年祭に就き本日午後より民團役所樓上に於て有志總會を開き發起人に於て起草せし方法を以つて專行すべきや否やを討議し異議なき時は直ちに會長以下の役員を選定する筈なりと云ふ

●會議所の豫算會議　京城日本人商業會議所にては四十一年度歳入出豫算議定の件に付昨日該樓上に於て總會を開けり

●驛長會議　四月一日より汽車時間改正及直通列車の開通等に關し太田南大門間及南大門仁川間の各驛長は昨日午後二時より南大門運輸課に於て協議會を開けり

●市價暴落と鑑定價格　御用船大禮丸は安東縣よりの軍需品百三十一個を仁川陸軍運輸部に陸揚し直に軍需品帆の筑後川丸は同部より群山守備隊行軍需品六個を載して

●暴徒の密偵を逮ふ（京城に於て）　西大門外松井洞の前侍衛二大隊の兵丁尹壽(二十)は昨年七月同隊解隊後八月の驅逐に加はりたる迄は分明せしも爾來行衛不明にして暴徒に加入せしものならんとの嫌疑あり偵等の爲め客歳十一月上旬以來北部守備警區司令官の隷下に屬せしめたる韓國近衛歩兵は目下其必要なきを認め不日原隊（在京城）に復歸せしむ

●巡査隊の行動　目下全羅南道の暴徒討伐に從事せる第二巡査隊は三月十三日午後十一時咸平郡大狄面斗谷に於て賊魁金律の部下の都督將として五十名を引率し泉明淑を逮捕し火繩銃を押收す又同十四日には咸平郡獐本面登江に於て金律の部下に捕獲一負傷十一を下らず而して同地方の首魁は金泰元金律李進士等にして巡査隊は一方彼等の所在の搜索に努むるとともに一般に向ひ歸順の勸誘方教示しつゝありと云ふ

●鐵道賃金の回答　來る四月一日より賃金引上げ來るべき韓國鐵道賃金引上に對し京城日本人商業會議所に於ては義に役員會の決議により二月三日付を以て副統監及鐵道管理局長に宛て陳情書を提出したるが今回石川鐵道管理局長より秋吉會頭へ向け左の如く回答ありたり

來る四月一日より實施すべき當局諮旅客賃金に對し本月三日付陳情書を以て縷々御來意の趣了承致候右は當局に於ても至極御同感に有之京仁間往復割引券に對する通用期間は既に三日間を制定發表致候付御承知の事と存候而して京仁間割引區間に永登浦驛の追加及其他の近距離に於ける割引は改正賃金實施之節其成績如何に依り漸次之が實行を期す豫定に有之候間御承知相成度此の段御回答申上候也

●開港紀念と民會　陽港二十五年祭に就き本日午後より民團役所樓上に於て有志總會を開き發起人に於て起草せし方法を以つて專行すべきや否やを討議し異議なき時は直ちに會長以下の役員を選定する筈なりと云ふ

●會議所の豫算會議　京城日本人商業會議所にては四十一年度歳入出豫算議定の件に付昨日該樓上に於て總會を開けり

●驛長會議　四月一日より汽車時間改正及直通列車の開通等に關し太田南大門間及南大門仁川間の各驛長は昨日午後二時より南大門運輸課に於て協議會を開けり

●市價暴落と鑑定價格　御用船大禮丸は安東縣よりの軍需品百三十一個を仁川陸軍運輸部に陸揚し直に軍需品帆の筑後川丸は同部より群山守備隊行軍需品六個を載して

●交替兵着期　來る二十八日仁川に入港すべき吉林丸にて交替兵〇〇〇〇名及三十日に入港すべき成興丸にて又同數の交替兵上陸する筈なりと云ふ

●近事片々

▲伊公の歸る　伊公の歸るゝも久いものだ月末出發と古谷秘書の通信今度は懸引無に歸るかゝるは、それや嘘だんべい矢つ張り何時

▲歸る　ものゝ京畿伊公の歸任期を調査す如是我觀

▲拓殖　總裁候補何ぞ多きや目賀田平田

▲新小松原宇佐川山根とまだ段々現出せん

▲大阪　朝日論ずらく統監政治の進口次第では拓殖會社設置の必要なしと然り同感

▲亦曰　統監政治は法政格式のみ厳密し

▲樂む　故に新る會社の必要ありと速切痛快

▲金く　統監府に殖民省の資格を備へしめば殊更會社を設る必要なし國力の統監政治

▲總督　撰擇之爲に郡要總裁は查馬廉と

▲西を　兼ねる快輪の手腕を揮はざる可らず

▲大朝　曰く韓國てふ一破屋を維持するの不利益永く忍ん可らずと之れ亂國の輿論

▲伊公　の眼中祖國の民論も何もなし乃公

▲胸中方　すありと噂絶なき兼生は度し難し

▲蓋政　府浦港に韓字新聞を發行すとの

▲恐　らく裏赤の嘘ならむ是實化韓人の外

▲鑑化　韓人盛政府の援護あるもの〻如

▲見せ　掛排日思想を煽る爲本部或は京城

▲京城　在住邦人貞包某井上某滬江下流

出張　暴徒に惨殺せらるゝ何と物騒な事も

▲密部　隣近にも暴徒跋扈す現内閣統監府

之を看過せひとするか借も齒痒く侍るかし

▲米艦　招待の報を發して高平總使ル太郎

傾に接見す而も日米國交の教厚を謳ふ突賢

▲國交　敦厚の裏面には桃日蔵に起り國賓

ボイコットの奥に潜米あるの說油斷大敵也

▲紫國　決闘流行何れも敗軍の將義世留ビ

寐覺　戸夫此次は霧か雲か雷か稲か秋空知乎哉

▲蓋政　木堂下田歌子と西大后の廟問せば

▲犬養　光も妙なりと然り歌子女史政治の才あり

▲歌子　女史部擁は何人も驚ふ亦其政略的

手腕ある何人も認識す鬼角女傑の一偉彩

▲姦雄　して捕らは廣鷹を翼で六十圓取

▲光州守備隊報告　討伐隊は三月二十一日長城にある派遣騎兵隊の一部と協力し光州西北方五里の廣谷附近に於て金泰元の指揮する約五十の賊を攻撃し其五を殺し數名を傷け我兵二負傷す火繩銃四其他雜品若干を鹵獲す

△韓國近衛兵の復歸　賊徒討伐の機導、密偵等の爲め客歳十一月上旬以來北部守備警區司令官の隷下に屬せしめたる韓國近衛歩兵は目下其必要なきを認め不日原隊（在京城）に復歸せしむ

●井上猛二氏出發　宮内府書記官井上猛二氏本日午前八時五十分南大門發にて本邦へ向け出發されたり

●金山書記官の一週年　故金山尚志氏の一週年を期とし生前同氏に權故深き鐵氏書起にて應分の醵金を請ひ同氏の油繪肖像を調製して統監府に掲げ永く紀念することゝし尚追悼會をも營む殘餘金は吊慰金として遺族に寄贈する計畫なるが伊藤統監は鐵に替同せられ特に金二百圓の寄附あり其他内地にては貴衆兩院諸員中の知人慈善團体の賛成者なるが去る二十三日朝曉分暑管内時谷哥山に於ける暴徒の首魁金奎植の幕下に屬し各所に於て暴動し去る十二日より金の命令を含み武器團達並に京城の事情密偵の爲めに當地に入り込み居る由を白狀せり　大邱警察署より派遣中の巡査隊一行は本月十五日寄松郡に於て故鄭煥直副將宋鳴皓、李履東の二名を生捕虜一負傷十一を下らず而して同地方の首魁は金泰元金律李進士等にして巡査隊は一方彼等の所在の搜索に努むるとともに一般に向ひ歸順の勸誘方教示しつゝありと云ふ

●韓國に對する來年度豫算　韓國前帝國議會の協賛を經て確定したる我政府の韓國に對して支出すべき四十年度追加豫算及び四十一年度豫算歳出の細目は左の如くなりと

四十年度追加豫算韓國に對する歳出

七〇〇、〇〇〇	遞信	韓國鐵道建設及改良費（京義線）
二〇〇、〇〇〇	大藏	韓國派遣部隊費（憲兵）
一、七六九、五〇三	同	韓國政府立替金
二、六六九、五〇三	合計	

四十一年度韓國に對する歳出

七、五二二、五八〇	遞信	韓國鐵道建設及改良費
二二四、三八八	内閣	總係費
一三六、六九二	澤	京釜線
二六六、五〇七		京義線
二六四、九九三		平南線
六一〇、〇〇〇		車輛費
二〇〇、〇〇〇		改良費
四三三、九四七	同	韓國鐵道收益勘定欠損塡補
九九、四四〇	同	韓國遞信官署新營費
一〇、一五〇	同	同修繕費
一、二二五、四一一	大藏	統監府
三一、二〇〇	同	特殊金庫事務取扱費

京城、仁川、釜山、元山、城津、咸興、月額各三〇〇〇圓

仁川、元山、理事廳官舍二棟、監獄事務所官舍二棟　二支金庫增設見込月額各五〇〇圓　理事廳新營費

七、二〇〇	同	在韓國居留民教育補助
一四六、二五〇	同	朝鮮海水産組合補助
三〇、〇〇〇	同	統監官舍新營費
二〇〇、〇〇〇	同	統監府所屬廳舍其他新營費
一五〇、〇〇〇	同	同修繕費
八四、五〇〇	同	韓國政府立替金
一四、〇〇〇	同	同修繕費
五、二五九、五八〇	同	韓國森林資金繰入
三〇〇、〇〇〇	同	陸軍軍費
四、一一一、二〇〇	陸軍	憲兵費
八一九、八五八	同	歩兵隊定費
五〇、〇〇〇	同	鎮海防備隊
六三、三二二	海軍	水興防備隊
五〇、一九三	同	在韓國海軍用地經營費
三七、七八四	同	
三〇、四二一、六一八	合計	

●韓米の大連輸出　大阪商船の第一回大連航路の汽船大連丸は白米三千五百を積みて大連に向ひ大連丸は白米二千を積載して阪神に向ひたり

●密輸入船の捕獲　仁川税關の小蒸氣デーシー號は過日羅津浦に逗留中なりしが一昨日清津より鹽二百石を積載せる支那船二隻を捕獲して仁川に歸港せり

△氏野傳三郎（大邱理事官）夫妻と浦尾旅館へ

△原本繁吉（學部書記官）夫妻と浦尾旅館へ

△森得男（警視庁巡査）

△高橋正雄（陸軍主計）

△原野義男（鐵道管理局）

△井上猛二（宮内府書記官）

△光州守備隊報告　討伐隊は三月二十一日長城にある派遣騎兵隊の一部と協力し光州西北方五里の廣谷附近に於て金泰元の指揮する約五十の賊を攻撃し其五を殺し數名を傷け我兵二負傷す火繩銃四其他雜品若干を鹵獲す

△韓國近衛兵の復歸　賊徒討伐の機導、密偵等の爲め客歳十一月上旬以來北部守備警區司令官の隷下に屬せしめたる韓國近衛歩兵は目下其必要なきを認め不日原隊（在京城）に復歸せしむ

△巡査隊の行動　目下全羅南道の暴徒討伐に從事せる第二巡査隊は三月十三日午後十一時咸平郡大狄面斗谷に於て賊魁金律の部下の都督將として五十名を引率し泉明淑を逮捕し火繩銃を押收す又同十四日には咸平郡獐本面登江に於て金律の部下に捕獲一負傷十一を下らず而して同地方の首魁は金泰元金律李進士等にして巡査隊は一方彼等の所在の搜索に努むるとともに一般に向ひ歸順の勸誘方教示しつゝありと云ふ

△慈仁東南方約五里）にて賊一を殺せり

△慈仁守備隊報告　慶尚北道慈仁守備隊の部は三月十四日忠淸北道錦何洞（淸州東方約五里）にて賊一を殺せり

△慶尚北道慈仁守備隊報告　今村中尉以下十名並に下士以下六名は三月九日午前一時朴山（位置なるの險遊なく今や暴徒に强制加入せしめられたる者は窃かに歸宅しつゝあるが如し泉明淑を逮捕し火繩銃を押收す又同十四日には咸平郡獐本面登江に於て金律の部下に捕獲一負傷十一を下らず而して同地方の首魁は金泰元金律李進士等にして巡査隊は一方彼等の所在の搜索に努むるとともに一般に向ひ歸順の勸誘方教示しつゝありと云ふ

△騎兵中隊報告　派遣騎兵第四中隊の一部は三月十六日午前五時全羅南道綾州（光州南方約五里）の西南三里虎岩にて賊約四十を攻撃し其十四を殺す鹵獲品銃十三、刀二、牛馬各一我隨行巡査一負傷す、又同第四中隊の一部は三月十六日公州西南約九里青陽郡上田面龍舟洞に於て約十五名の賊を襲撃し其五を殺せり鹵獲品銃七雜品若干

△慶州守備隊報告　慶尚北道慶州守備隊の一部は三月十七日午前九時安心洞（慶州西北約九里）に於て約四十の賊を攻撃し二時間の後之を北方山間に潰亂せしめたり死捕虜二我に損害なし

△慶尚北道の賊死數　二月十五日より同二十九日に亘り慶尚北道北部討伐隊は賊二百餘を殺し銃器四十三、鎖四十二彈藥其他雜品多數を鹵獲す

△光州守備隊報告　討伐隊は三月二十一日長城にある派遣騎兵隊の一部と協力し光州西北方五里の廣谷附近に於て金泰元の指揮する約五十の賊を攻撃し其五を殺し數名を傷け我兵二負傷す火繩銃四其他雜品若干を鹵獲す

△韓國近衛兵の復歸　賊徒討伐の機導、密偵等の爲め客歳十一月上旬以來北部守備警區司令官の隷下に屬せしめたる韓國近衛歩兵は目下其必要なきを認め不日原隊（在京城）に復歸せしむ

△巡査隊の行動　目下全羅南道の暴徒討伐に從事せる第二巡査隊は三月十三日午後十一時咸平郡大狄面斗谷に於て賊魁金律の部下の都督將として五十名を引率し泉明淑を逮捕し火繩銃を押收す又同十四日には咸平郡獐本面登江に於て金律の部下に捕獲一負傷十一を下らず而して同地方の首魁は金泰元金律李進士等にして巡査隊は一方彼等の所在の搜索に努むるとともに一般に向ひ歸順の勸誘方教示しつゝありと云ふ

(第三種郵便物認可)　明治四十一年三月廿五日　東京觀新報　第壹百九號　(水曜日)　(三)

事實談　花の根ざし　(六)

栗燕庵主人

花咲夫師夫婦も、横澤老夫婦も共に恩義に移轉した、家屋を適當の所に建築するまで姜敬植の雜家を借受ること〳〵した、すべて一蓋つきしたので、次郎は種々なることで日本に行くこと〳〵なり、靜子のことは老夫婦に能く頼み置きて出發した、靜子は名殘が惜れぬわけでもない、親切なる老夫婦の傍に居ることなればさほどに悲しくもない、次郎も亦同様である、

[illegible]次郎の不在中次郎の妻常なる出來事が持上つた、嘸しも秋の半ば、三南地方の氣候は日本の中部と異らはない好い氣候である、晴れ渡つた天氣のときは郊外の散歩がしたくなる、靜子は秋晴色に見惚ねつゝ、歩むともなく畦徑をつたい、おらく住く、稻はやゝ色づき蟋蟀飛び、農夫婦の長煙管に實を强らしつゝ稼ぐさまの長閑き、多少詩的趣味を有せる靜子には得も云はれぬ快地よさ、唱歌を小聲に謠ひつゝ彼地此地と徐ろ歩くとき、突然一人の朝鮮人水り矢庭に靜子の手を取り之をかゝへて一散に走りだした、靜子は突然のことであるし、殊にこの亂暴な擧動に驚怖して聲を限りに叫んだ、けれども住家とは離れて居るし、見て居る韓人其は之を助けようとはしない、さても其韓人は遙かの小山までの間を行きてそこに下ろした、靜子は最早決心した、髮にさして居たピンを採て、若しも其威けたことをするならば之を眼球に衝き込み呉れんと、凛然と身を構へた、韓人はでんなことには頓着なく、微笑しながら身を寄せて挑まんとする、靜子は一生懸命なり、靜子つり上げはつたと睨めて、

「これ前は妾に何をする私りだ、妾はお前見た様な韓人に身を汚されるようなものじゃない、女でこそあれ日本人である、穢らはしいそこをれ退き、」

と云へば韓人は日本語を解せぬと見へて、只微笑りゝ〳〵として尚もしなだれかゝらんとする氣勢に、靜子は最早度胸を据へて腕を伺ひ持たるピンを韓人の眼中に差し込んだ、不意を喰つた韓人何でもあるべき、聲哀號と叫び上つた、して今度はすこし目付をして靜子に飛び掛らんとする、靜子も最早これ迄なりと、赤も突込まれんせ意をこらして待構へる、其氣勢にのまれたか最初の狡手にまいつたか、初の勢ひは何處へやら元來し道へ逃げ出した、靜子はホット一息した、虎口に免れたが、心臟の鼓動烈しく終にそこに倒れだ、暫らくして漸く回復して住家に歸つたが、これ程の無禮に非常に發熱して終に臥室扶所になる、

仁川の外國貿易額

仁川に於ける本月中旬の輸出入額は輸出七百二千百六一三圓、輸入二千百六十九圓、合計三十三萬四千三百五十七圓、清酒二千五十圓、同輸入は六萬千八百二圓、打綿六千三圓、日本綿千三百四圓、煙草十圓、同輸入は六萬千八百二圓、石油七十五圓、マッチ五千七百三十一圓、大豆及び小豆三萬三千百六十四圓、石炭三千六百五十四圓、金銀貨及び地金の輸出は百五十七圓、輸入品の重なるものは食鹽千六百十七圓、清酒二千五十圓、同輸入は六萬千八百二圓、煙草十圓、日本木綿千三百四圓、石油七十五圓、マッチ三千六百六十四圓、石炭三千百六十四圓、同輸入は六萬千八百二圓、金銀貨及び地金の輸出は百五十七圓、輸入品の重なるものは米二萬九千三百八十六圓、大豆及び小豆三萬三千百六十四圓、石炭三千六百五十四圓、綿糸十七圓、生糸五百六十圓、輸入品の重なるものは食鹽千六百十七圓、清酒二千五十圓、同輸入は六萬千八百二圓、打綿六千三圓、日本木綿千三百四圓、煙草十圓、同輸入は六萬千八百二圓、石油七十五圓、マッチ五千七百三十一圓、石油七十五圓、マッチ三千六百六十四圓、石炭三千百六十四圓、同輸入は六萬千八百二圓、金銀貨及び地金の輸出は百五十七圓、輸入品の重なるものは米二萬九千三百八十六圓、大豆及び小豆三萬三千百六十四圓、石炭三千六百五十四圓、綿糸十七圓、生糸五百六十圓、輸入品の重なるものは食鹽千六百十七圓、清酒二千五十圓、同輸入は六萬千八百二圓、打綿六千三圓、日本木綿千三百四圓、煙草十圓、同輸入は六萬千八百二

開店御披露

會席御料理

すし、菜わんむし

すし芳

今般新築落成仕候に付本月十日より開業仕候間續々御光來被下度奉願候

京城南山町三丁目

營業科目

土地家屋鑛山山林賣買ノ仲介
土地家屋鑛山山林測量圖應依頼
濕滅排水事業設計應依頼
土地整理並丈量應依頼
鑛山未墾地出願代辨
土地家屋賣買明細手續代辨
外國旅券出願代辨
新聞廣告取次
電話賣買取次
韓國に關する圖書雜誌閲覽
韓國に關する非賣出版書閲覽
韓國に關する本社調査書類閲覽
商品依託持約代理店ノ仲介

京城仲介社

▲弊社は誠實秘密且敏速に業務を營む
●宅地及韓人家屋の賣物あり
●商店向其他の貸家あり
●鑛山の賣物あり
●耕地未耕地の賣物あり
弊社は各方面に渉り各事項を調査す
▲本社は京城永樂町一丁目八番戸假事務所

支社
東京 東京麹町區宮士見町 伊藤豊次郎
大阪 大阪尼ケ崎字宮町一丁目 由比昌太郎
仁川 仁川新町一丁目 遠藤喜平
釜山 釜山入江町二丁目 加納佐一
木浦 木浦手通三丁目 佐藤
鎮南浦 鎮南浦西二丁目 谷垣
水原 水原南門内 田口直
開城 開城西部 今福
元山 元山居留地 川口三郎
平壤 平壤大和町 菅鶴平
鏡城 鏡城北門内 佐久間賢次郎
龍山 龍山元町 祝本新作
平壤 平壤東門外 吉岡一臣

新築建材料品種々

ラバイド
金屬打出モナーク瓦
アスハルト並に工事
リサイト
一名防火ペンキ
アスフハルト
フエルト
穴木材防腐劑
米國製 鹿紙◎石綿瓦
建築用紙◎エナメル

本店 東京京橋區南鍋町一ノ十
支店 大阪横堀須賀市連市
同 韓國紐育伊勢町一丁目
同 米國紐育和大街六九
出張所 東京麻布區兵庫町一丁目
(特電)(三四)
(特電本局)(四九)
(電話西一八九一)

合資會社 會商原宮

日韓印刷株式會社

今般日韓印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ通ニ新築落成仕從前ノ通營業致候間事御愛顧之段奉願上候也

營業科目
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
諸帳簿
製本裝釘
活版活字鑄造

本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)
東京出張所 東京麻布區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

開業御披露

桃山の花の盛りとなれる其中にも殊に本國は京阪の本場の美人揃ひにて評判も高き麗そろいに御座います

和歌吉 和歌勇 和歌千代 和歌芳
和浦 和歌之助 和歌駒 和歌葉

龍山桃山遊廓

和歌の家支店

(電話一六三番)

一西小門外稅關官舍敷地排水工事
一同上板塀煉瓦塀其他工事

右一口として競爭入札に附す請負望の者は隆熙二年四月四日までに當部に就き入札人心得書契約書安工事仕様書及圖面熱覽の上來る四月六日午前十一時當部に出願入札すべし即時開札す
入札保證金は各自見積價格の百分の五以上
此契約は臨時稅關工事部長坂出鳴海擔任す
隆熙二年三月二十一日

臨時稅關工事部

歐米建築材料直輸入

○マルソイド便利瓦
○土居防濕用P&Bフエルト
○青谷防寒用P&B建築用紙
○銅鉄亞鉛打出天井蛇腹中心飾
○佛國製壁紙各種
○室內廊下敷物各種
○アスハルト各種
○アルボリー石鹼卸

本店 東京銀座三丁目
京城永樂町二丁目

東京 藤原 京城支店

電話九五九番
支店 神戸北長狹通四丁目
同 清國大連伊勢町九號地

電車割引券發賣
電車割引券
龍山線區域改正
電車發着時間改正

米韓電氣會社

御爲筋仕入品

歷直なしのまからず屋

寒さ暑さも彼岸まで……新柄友禪(廿五錢より四十錢)
珍色襦子(片帶二圓より四圓)東京双子(三圓以內)尾州銘仙(五圓前後)新米澤(同上)新御召(七八圓より十圓位)大將裏地(八十五錢より二圓五十錢位)美人裏地(同上)久留米絣(一圓五十錢より九圓位)久留米縞(一圓五十錢より二圓五六十錢位)伊豫絣(二圓餘より三圓三十錢)中國絣(三圓內外)唐更紗(九錢より二十五錢)天竺紋(三十三錢)本ネル(四十五錢)綿ネル(十錢より二十五錢)英ネル純毛(三十八錢)同じく混綿(十七八錢より三十錢位)其他種々新荷入着……春袷なりとも單衣なりとも

丸一洋反物店

京城本町三丁目
(電話六三五番)

前金御送附の外は代金引換小包郵便にて差上可申候

●貨賣せずの即金取引店

御德用大安物

四日一日より賣賣すり鐘路本社及龍山電車停車場にて發賣六十枚綴一冊に付金二圓八十五錢何れの區域にも使用し得べし
四月一日以後は南大門驛前を境界點とし同點より鐘路及龍山迄を各一區域とする
四月一日以降は夏期時間表に依り電車を運轉す

韓電會社

開業御披露

和歌の家支店

(電話一六三番)

中折帽子、靴下各種
ブローチ及ピン
キヤラコ各種
小供洋服各種

○大割引販賣

長谷川谷町一の四五

和加奈商會

本店 東京市日本橋區兜町
內地支店 大阪、京都、橫濱、神戸、名古屋、四日市
及出張所 下關、吳、廣、伏見、大阪西區、東京新橋、大阪町
韓國支店 仁川、釜山、元山、鎮南浦、木浦、群山、鳳城、平壤、安東縣、大邱、開城、城津、咸興、馬山、鐵城
滿國出張所

株式會社 第一銀行韓國支店

電話 營業部 一番
番號 當直用 一番
營業部 三三二番
總支配人 市原盛
副支配人 三島太郎
國庫副支配人 竹山純平
國庫金出納長 木村雄次
副支配人 營業部長
國庫部 六二一番
用度係 六二二番
分拆所 六二三番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 拾萬圓
(京城南大門通電話四二〇)

本店 大阪、熊本
支店 佐世保、鹿兒島、豐後、岐阜
出張所 長崎市樂町

株式會社 八銀行 京城支店

韓國日本

京城、龍山、釜山、仁川、木浦、羅州、群山、元山

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金

一口壹錢以上何程にても御預り申候
(利息日步壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店

(十八銀行京城支店)

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎮南浦 安東縣

株式會社 第五十銀行京城支店

(電話五八番)

爲替取組先
藏山 東京
海陽 北海
內鹽 海陸
灣鹽 道鹽
二十七ケ所 東海道
十二ケ所 北陸道
七十五ケ所 西海道
二十三ケ所 山陰道
五ケ所 清國
十二ケ所 韓國
三十三ケ所 內國
一九ケ所

齒科全般の治療

米國最新式義齒
醫學博士 女醫 中村安子

京城本町六丁目(鍼そば横町)
本町座前大和橋向

●大勉强廣告●

○うなき蒲燒○會席御料理
○うなどん○親子どんぶり

きく紋

電話九百五十四番

善隣商業學校
夜學專修科

生徒募集

●第一學年生五十名●出願期日四月十二日限
●志願者心得入用のものは本校に申出べし

京城明治町壹丁目

一堅牢なる中古荷車安價放賣

右多數着荷仕り候に付多少共御用命の程願上候

京城南大門(千素館前)

源小宮山運送支店

(電話一二九番)

源同本店

日本郵船會社
滿船出帆廣告

仁川海岸通 貨物及船客取扱店

郡回漕店

京城南大門通 (電話三六〇番)

●釜山長崎門司神戸行 東丸 四月十二日 後三時出
●群山、木浦、釜山、西鶴、神戸、大阪行 錦一號 四月廿五日 後三時出
●大連、大沽行 高砂丸 四月九日 後一時出
●大連、大沽、牛莊行 栖田丸 三月 日 後一時出
●鎮南浦行 一ハヨ號 三月廿二日 後三時出
●釜山出帆 弘山丸 三月 日
注意 御乘船ノ際ハ必ズ御出帆ノ時刻ニ遲延ノ事アリ

前代議士
辯護士

大久保雅彥

京城旭町二丁目
電話 大三九番

會席御料理

並に仕出し
京城本町一丁目
曙亭

本店 仁川理事廳通(電話三三番)
支店 京城南山町(電話一〇七番)

原金旅館

毎月廿日 一割引 大
一名 二頭八錢
一名一日錢頭
一錢に四つ
御菓子製造大勉强

京城本町 原本 目堂